

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 101

事務事業名	大村湾環境保全対策事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	環境保全課		
課長名	原 和彦	内線	178
担当者名	渡邊 直人	内線	143

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050401	環境にやさしいまちづくり
施策		環境保全の推進
関連施策		

会計	1	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	5	公害対策費
事業コード	040300	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 市民及び事業者		
意図	対象をどのような状態にしたいか 「大村湾をきれいにする会」及び「大村湾をきれいにする会大村支部」の活動を通じて、大村湾の水質浄化を図るとともに市民及び事業者が大村湾の浄化について関心を持ってもらう。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か 長崎県、大村湾流域自治体5市5町及び長崎空港ビルディング(株)等の事業者の会員で組織された「大村湾をきれいにする会」では、大村湾の浮遊ごみを回収したり、啓発事業を行う。 また、「大村湾をきれいにする会大村支部」の沿岸清掃などの活動に対して補助を行い、会の活動の円滑な実施により大村湾の水質浄化を促進する。		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	大村市生活環境推進事業補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 大村支部会員団体数	計画値	33	35	35	39	
		実績値	34	34	38		
		達成度	%	103.0%	97.1%	108.6%	
成果指標	① 沿岸清掃参加者	計画値	3,700	3,700	3,200	3,789	平成28年度計画値は平成27年度分実績値×(101~103%)を計上
		実績値	2,721	3,118	3,679		
		達成度	%	73.5%	84.3%	115.0%	
② 浮遊ごみの回収量(kg)	計画値					※実績値のみ把握H22から清掃船なし、漁協委託のみ	
	実績値	Kg	31,960	25,300	21,690		
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,397	3,170	2,684	2,758	2,762	2,762	2,762	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	2,397	3,170	2,684	2,758	2,762	2,762	2,762	
② 人件費(千円)	6,969	7,088	5,961	5,079	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.85	0.90	0.80	0.65	大村湾沿岸清掃、大村湾浮遊ごみ回収・処理	大村湾沿岸清掃、大村湾浮遊ごみ回収・処理	大村湾沿岸清掃、大村湾浮遊ごみ回収・処理	
時間外勤務(時間)	61	97	113	130				
嘱託等人数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05				
フルコスト(①+②千円)	9,366	10,258	8,645	7,837				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	大村湾をきれいにする会大村支部では、さらなる会員の加入促進を図るとともに、沿岸清掃活動における参加者の増加を図るため、会員及び協力団体に働きかけを行い、会員の増加につながった。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	わずかに会員は増加したが、さらなる会員の増加を図る必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村湾の水質浄化は重要案件であり、その前提となる清掃活動や啓発活動の実施は必要性が高い。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村市は大村湾沿岸の中心部を占める上に、「大村湾をきれいにする会」及び「大村湾をきれいにする会大村支部」の事務局であるため、市が中心となって関与して行く必要がある。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	沿岸清掃参加者は、年々増加傾向にある。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	「大村湾をきれいにする会」による浮遊ごみの回収除去や「大村湾をきれいにする会大村支部」による清掃活動によって、大村湾の浄化推進が図られ、大村湾の環境保全につながっている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	「大村湾をきれいにする会大村支部」への市補助金は、過去においてかなりの減額を実施しており、これ以上削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	「大村湾をきれいにする会大村支部」の活動はボランティア活動であるため、活動協力を得られているが、会員加入もなかなか困難である中、会員への会費徴収の実施は加入促進の妨げになるとともに、組織の衰退を招きかねない。また、「大村湾をきれいにする会」においては、沿岸各市町の間で負担割合が決められているため。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	昨年度と同様に、「大村湾をきれいにする会大村支部」では、引続き、会員数の増加に努めるとともに会員内における沿岸清掃参加者数の増加や会員以外からも参加協力を働きかける。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性		2次評価	対象外	今後の方向性	
	終期設定			終期設定		
	意見等			内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。